

Q6 武庫川で堤防強化は必要なのか？

A6 密集市街地を流れる武庫川下流部は天井川となっており、洪水時の河川堤防の決壊は甚大な被害をもたらすことから、堤防の安全性の確保は重要な課題です。

そこで、武庫川では平成14～15年度に「武庫川堤防技術検討委員会」で堤防の安全性の検討（土質調査や浸透解析）を行った結果、直ちに緊急対策が必要となるような危険度の高い箇所はありませんが、浸透破壊に対してより安全性を高めることが必要な区間を抽出し、平成22年度完成を目標に現在、浸透対策工事を実施しています。工事は、堤防裏法裾ドレーン工法により浸透水を速やかに排水することを基本としています。

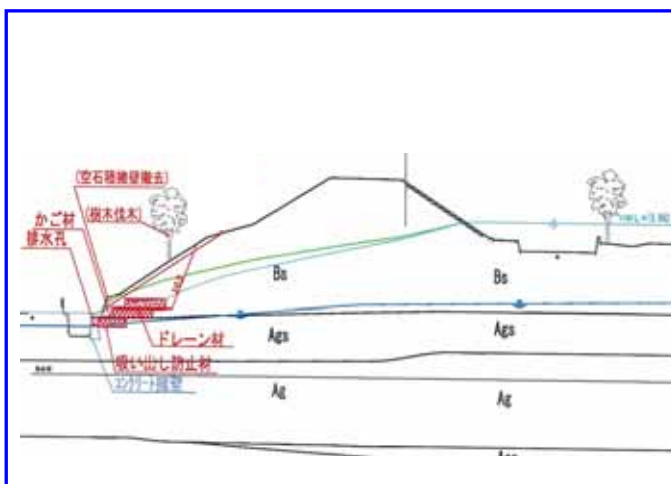


図1 堤防強化断面図



写真1 堤防裏法尻のドレーン工